

有効視野検査（UFOV）・リスクカルテWEB版等実施事例

1. 日時

令和2年1月31日

（JA相馬村冬期講座（農作業安全研修））

2. 場所

JA相馬村（青森県弘前市）

3. 実施内容

JA相馬村組合員（りんご農家）を対象に、農研機構 革新工学センター研究員による事故事例から考える農作業事故防止対策について講演を行うとともに、有効視野測定（UFOV）を実施し、測定結果についてのコメントと「私の農作業安全宣言チェックシート」への記入を通じて農業機械の安全使用に向けた啓発を行った。最期にアンケート用紙に記入してもらう。また、青森県構造政策課の協力を得て、リスクカルテWEB版の体験を併せて実施した。

研修参加者は30人、UFOVは対象者9人、リスクカルテWEB版は対象者3人だった。なお、対象者には青森県農作業安全推進協議会より、ヘルメットが配られた。

4. 検査の様子



革新工学センター研究員の話聞く
農業者の皆さん



研修会場の隣室にUFOV検査会場を
設置。参加者に呼びかけて、希望者を
募る形で実施した



UFOV検査会場の隣では、青森県構
造政策課担当者がリスクカルテWEB
版体験会場を設けて実施した



ヘルメットが配られた